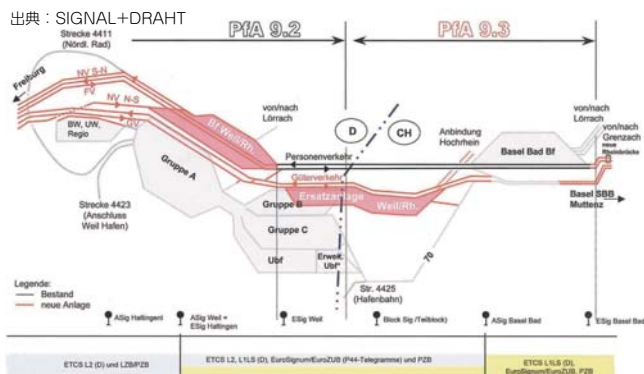


信号 混合ETCS設備のバーゼル接続駅

原題: Gemischtes ETCS-Ausrüstungskonzept für den Knoten Basel
誌名: SIGNAL+DRAHT Vol. 103 No. 12 2011-12 p12-18

カールスルーエ～バーゼル間の新設/改良線プロジェクトの一部として、2012年から2017年に広範な建設作業が行われる。プロジェクトにはバーゼル駅にETCSを装備することが含まれている。ETCSレベル2を全域に設備するのではなく、ETCSレベル1のLS(制限監視)とFL(全監視)をスイス仕様に従って適用する。これはバーゼル駅の適用条件、すなわち国際合意、政策目的、プロジェクトスケジュールの条件を全て満足している。



バーゼル接続駅における混合ETCS設備概念

軌道 連結分岐器—通常の設置方法の単なる代替方法を超越する

原題: Klappweiche - mehr als eine Alternative zu üblichen Einbauverfahren
誌名: Eisenbahntechnische Rundschau 61-12 2011-12 p28-32

RAIL.ONE社とWeichenwerk Witten社が、連結まくらぎ (articulated sleepers), 革新的な組立技術, ロジスティクス, および設置方法を用いた新しい「TKW」分岐器を開発した。この分岐器は、事前に組み立てられてから設置現場に直接運ばれる。まくらぎの突き出た端部が連結されており、分岐器を標準的な貨車で運ぶことができるため、高くつく特殊輸送が不要である。この斬新な分岐器は、「輸送とロジスティクスに貢献する技術」であるとして「Center for Transportation & Logistics Neuer Adler」から2011年の革新賞を受けている。



21の連結継手を含むEW 54-300のクロッシングと端のまくらぎ

輸送 マドリードは翼を広げる

原題: Madrid spreads its wings
誌名: Railway Gazette International Vol. 167 No. 12 2011-12 p44-45

マドリードバラハス空港第4ターミナルは営業開始後1カ月で100,000人の旅客に利用された。デュアルゲージ軌道の導入によってRENFEのマドリード郊外ネットの高速鉄道を利用できるようになる予定である。2011年9月の開業以来、空港から30分ごとに列車が運転され、Chamartinまで11分、市の中心に近いNuevos MinisteriosやAtochaまでそれぞれ、18分、25分で到着する。



空港線の新トンネル内の剛体架線は3kVDCと25kVAC50Hzの両方でき電できるように設計されている。

施設 ロンドンキングスクロス駅の大改築

原題: A Magnificent transformation
誌名: Railway Gazette International Vol. 167 No. 12 2011-12 p46-48

東海岸路線の中心的ターミナル駅であるロンドンのキングスクロス駅において、今後の利用客の大幅な増加を見越して約5億ポンドの予算で大改築が行われている。改築の中心は西側の「the green shed」と称されているコンコース部分を移築し、ここに新しく7500m²のコンコースを新築するとともに、南側にCubitté façadeを新設するもので、西側コンコースは来年3月から供用される予定である。



改築の中心的構造物である長大スパンの屋根と漏斗状の支柱

WRT (海外鉄道技術情報) は海外主要鉄道誌の記事抄録を含め、海外の最新の鉄道技術情報をタイムリーで紹介する季刊誌です。ここに紹介した記事はその一部です。
⇒新刊案内、バックナンバーは総研HP (www.rtri.or.jp) をご覧下さい。
⇒問合せ (研友社) TEL: 042-572-7157 HP: www.kenf.or.jp